

ドローン画像解析によるブロッコリーの収穫適期診断

概要

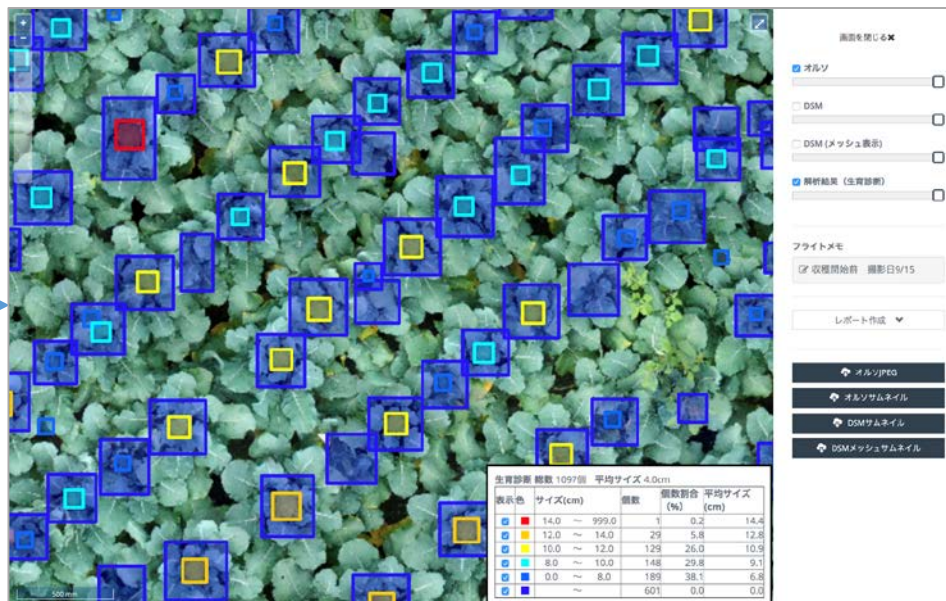
- ドローンが撮影した作物の画像をクラウド上のマップに記録。いつでもどこでもインターネットを通じて農地の様子、作物の生育状況が確認できるクラウドサービス。
- 撮影した画像をクラウド上にアップロードするだけで、撮影された位置に基づき、サービス内のマップ上に画像を配置。圃場のどこで何が起きているのかを簡単に把握することが可能。
- クラウドサービスではオルソモザイク（圃場の一枚画像）の生成や異常箇所の検出、作物のサイズや個数の計測等、様々な処理解析サービスを実装。処理を実行すれば短時間で処理結果が出力される。
- 記録されている情報を関係者間で共有する機能もあり、営農指導員や契約先の企業など、関係者間で農地の状況をオンラインで共有することも可能。

導入効果

- ドローンで撮影した画像を解析することで花蕾のみを自動で抽出。株毎の花蕾のサイズの測定並びに収穫適期を迎えた花蕾の割合を算定することが可能（但し花蕾が上空から撮影できることが条件）。
- 農地の様子や作物の状態をデータに変換してクラウド上に記録。翌年以降振り返ることが可能に。



自動処理



ドローンが撮影した画像から花蕾を自動で抽出しサイズを計測・集計

○対象品目

水稲	畑作	露地野菜	施設園芸	果樹	茶	花き
酪農	肉用牛	養豚	養鶏	飼料作物		
沿岸漁業	養殖業	沖・遠洋漁業	その他水産業	林業		その他

○該当するニーズ

項目	収穫・調製・加工
技術ニーズ	農業機械
具体的なニーズの内容	ブロッコリーの収穫適期を判断する安価な花蕾測定器

○開発等の段階

開発/実証中	
モニター販売中	○
一般販売中	
その他	

☎️ 連絡先

(株)スカイマティクス 営業企画本部
 TEL: 03-6262-6360
<https://smx-iroha.com/>
info@skymatix.co.jp



お問い合わせフォーム